

西新宿



大規模都市開発の再生を考える

倉田直道

1960年代から開発が始まった新宿副都心は20世紀を代表する都市イメージを実現した。街は、立体的に歩車分離され、建物の足下には人々のための広いオープンスペースが提供されている。超高層ビルが林立するオフィス街は、未来型の都市に挑戦した街ではあったが、21世紀に入りそのほころびも見えてきた。新宿駅の東口、南口の新しい開発が進行する一方で、西新宿は再び、輝きや賑わいを取り戻せるのかが問われている。地元の大学が音頭をとり、地域の企業や市民、行政を巻き込みながら、その再生の道を探る。

10月21日(木)19:00~21:00

倉田 直道 (都市デザイナー・工学院大学教授)

■会場:本郷瀬川ビル 6階ホール
東京都文京区本郷2-35-10

■主催:NPO景観デザイン支援機構(TDA-J)
tel:080-6722-4114

■参加費:一般:2,000円
TDA正会員・賛助会員・学生:1,000円
お申し込み:<http://www.tda-j.or.jp/>

